

北海道大学シラバス					
科目名					
大学院共通授業科目（教育プログラム）：One program for Global Goals					
講義題目					
SDGs実践科目：北方圏研究特別演習（NJE3）					
責任教員（所属）					
森 太郎（大学院工学研究院）					
担当教員（所属）					
斎藤 秀之（大学院農学研究院） 森 太郎（大学院工学研究院） 丹菊 逸治（アイヌ・先住民研究センター） 仙石 学（スラブ・ユーラシア研究センター） 渡部 典大（大学院工学研究院） 安達 大輔（スラブ・ユーラシア研究センター） 菅井 健太（大学院文学研究院） 加藤 博文（アイヌ・先住民研究センター） 大西 富士夫（北極域研究センター）					
科目種別	大学院共通授業科目			他学部履修等の可否	可
開講年度	2026	期間	通年不定期	時間割番号	101227
授業形態	演習	単位数	2	対象年次	～
対象学科・クラス				補足事項	
ナンバリングコード	IGS_IDS 5071				
大分類コード	大分類名称				
IGS_IDS	大学院共通授業科目（複合領域）				
レベルコード	レベル				
5	大学院（修士・専門職）専門科目（基礎的な内容の科目）、大学院共通授業科目				
中分類コード	中分類名称				
0	複合科学				
小分類コード	小分類名称				
7	その他				
言語					
英語で行う授業					
実務経験のある教員等による授業科目					
対象外					

キーワード

環境評価、文化的多様性、生活環境と地域開発

授業の目標

北海道から北極圏に連続する北方圏は、豊かな自然と天然資源をもち、それらを持続的に活用する技術を展開していく必要がある。また、多くの先住民族が育んできた文化的多様性を特徴とする。
本演習においては地域的課題について、指導教員の指導を受けつつ、作成する小論文、または企業や自治体でのインターンシップを通じて実際の地域課題を理解することを授業目標とする。

■ 到達目標

地域的課題に積極的に取り組む高度職業人として必要不可欠な基礎知識として以下の3つの目標の到達をはかる。

- (1) 地域の現状と課題を理解するための基本的知識を習得すること。
- (2) 「環境評価」「文化的多様性」「北方圏の生活環境」「地域資源開発」に関連した地域課題を理解するとともに専門技術を修得すること。
- (3) 北方圏の地域社会、企業、自治体との人的ネットワークを構築すること。

■ 授業計画

1) 論文指導

研究テーマについてのチュートリアル（参考文献や事例の紹介 5回）

実験や課題制作、インターンシップなどについての指導（5回）

学位取得に向けた研究論文の執筆指導（5回）

2) インターンシップ

北海道から北極圏に連続する北方圏に関わる、母国以外の大学あるいは企業、行政府、NPO等の公的な団体において、インターンシップを行なう。

受入先および母国の指導教員と調整の上、授業計画を個別に設定する（渡航前の提出・承認が必要）。

■ 準備学習(予習・復習)等の内容と分量

指導教員から示されるリーディングリストに含まれる文献の読解。

■ 成績評価の基準と方法

1) 論文指導

論文形式のレポートを執筆し、指導教員が総合的に評価する。

2) インターンシップ

インターンシップ受入先からの報告と、本人からのレポート（文章および口頭、英語）を、指導教員が総合的に評価する。

■ 有する実務経験と授業への活用

■ 他学部履修の条件

■ テキスト・教科書

■ 講義指定図書

■ 参照ホームページ

<http://oggs.oia.hokudai.ac.jp>

■ 研究室のホームページ

■ ■ 備考

履修者確定後、履修者数により対面授業を実施する。OGGsウェブサイト及び掲示情報を十分に確認すること。

■ ■ 更新日時

2026/01/13 21:38:28

■ ■ 授業実施方式

対面授業科目《一部遠隔》